

山口型放牧研究会長が農業関係教職員に 放牧についての講演

長門農林事務所畜産部

平成21年9月11日

山口型放牧研究会会長の元永素氏（長門市油谷）が平成21年8月21日、山口市湯田温泉で開催された平成21年度中国5県高等学校農業教育研究大会において、肉用牛の放牧に関する講演をされました。

当研究大会は、農業関係の教職員が当面の問題や農業教育の今後の方向性を研究協議するために開催されたもので、元永氏は、「放牧で創る新しい地域農業」というテーマで、山口型放牧の経緯、仕組み、効果等から最新の集落営農での取り組みまで幅広い内容についての説明をされました。

特に、「放牧は難しいものではなく、牛が色々教えてくれる。」、「個人で解決できないことは、関係機関に協力を頼むこと。」、「難しいことは考えず、いかに手間がかからないようにするかが大切。」と、御自身の肉用牛放牧の経験から得られたポイントなどを力説されました。

参加者から実際に放牧を実施する上での疑問等について質問が出されたり、講演終了後にも質問しに数人の参加者が講師を囲むなど、熱気のこもった研究大会となりました。



講演中の山口型放牧研究会会長